



オリーブ通信

2017年
5月号
2017.5.27
第187号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

新しい生徒を
紹介します！



グエン・ヴァン・トゥエンさん
〈ベトナム〉



グエン・ヴァン・トゥアンさん
〈ベトナム〉

3年間日本語を
勉強したい。
N1を取りたいです



グエン・ドック・クアンさん
〈ベトナム〉



陳 宏儒(チン ホンルウ)さん
〈台湾〉



宋 永柱(ソン ヨンジュ)さん
〈韓国〉



ドアン・ティ・ジュエンさん
〈ベトナム〉

中川先生のへんてこ日本語

82

「隣はなにをする人ぞ」

地下鉄のターミナルで、行先表示を見ながらなにやら話している数人のグループがあった。どうやら訛りの強い中国語のように聞こえたので、稚拙な北京語で「どこへ行きたい」のか尋ねてみた。通じたらしく、ところが返答された中国語がまったく分からない。なんとか行先だけは分かったので、降りるべき駅を教えた。どうやら中華系のマレーシア人らしい。

筆者が遭遇した、このような場面は、今の日本では頻繁に起こるであろう。そうしたトラブル回避のために、スマホをかざせば、さまざまな言語で対応してくれる設備も導入されつつある。

しかし筆者がここで言いたいのは、それではあまりに寂しい！ということである。便利な世の中にはなまったものの、コミュニケーションの楽しみはどんどん薄れてしまう。道を聞くのも、買い物をするのも、ネットからとなると、まさに「隣はなにをする人ぞ」で、人と人との交わりが皆無になってしまう。日本人本来の持っている「暖かさ」や「親切心」を感ぜずじまいに帰国して行つては、何のために日本へ来たのかわからなくなってしまう。どこの国にいたってネット一つで買い物はできる。旅先で買って食べることにこそ、旅の楽しみがある。

そのマレーシア人との別れ際に発せられた「謝謝」の一言が、どれだけ筆者の心を豊かにしたことだろう。

コミュニケーションのうまい人はオーラを発しているらしい。そのオーラこそ、「優しさ」オーラであり、日本人オーラであると思うのだが。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



生徒リレーエッセイ

昨年インドネシアに帰国した、 メイディさんから近況報告です♪

おはようございます。
インドネシアのメイディです。
漢字でこう書くのかなあ、「明でい」

皆さん お元気ですか。ご無沙汰していて本当にすみません。去年の6月に帰国してから、日本で研修していた会社と同じ会社に勤めています。けっこう忙しいです。日本語がちょっとできるようになって、機械オペレーターではなく事務所のオペレーターとして、日本へ出荷する仕事をしています。

ですが日本語で話す機会はありません。僕は日本語を忘れてしまいそうで、ちょっと不安です。

日本語を忘れないように、日本人の友達とよくメールをしています。

それでは、インドネシアで日本語に関係する事を紹介させていただきます。

ちょっと前の話になりますが、今年の2月に「高校生日本語弁論大会」がありました。ジャカルタで行われました。

この大会に参加できるのは、インドネシアの各地方の高校から地方優勝の代表を選抜して、さらに各県の優勝者を決めます。各県の優勝者は全国大会の「高校生日本語弁論大会」に参加できます。

この大会には参加条件もあります。

1. 高校の2、3年生である
2. 両親は日系ではない
3. 6ヶ月以上日本に住んだことがあってはいけない

参加者の多くは、自分の地方の事をテーマに話していました。僕はずっとジャワ島に住んでいるので、このスピーチを聞いて感動しました。地元民の僕が聞いても、インドネシアはこんなに広い国なんだなあって思っています。

僕がまだ日本にいた時、僕のスピーチを聞いてくれた皆さんの気持ちと、今の僕の気持ちはたぶん同じだと思います。嬉しい。

このイベントの事は、僕が日本に行く前、一緒に日本語を勉強していた先輩が紹介してくれました。先輩は今、日本語教師として、専門学校で日本語を教えています。

インドネシアは世界で第2位の日本語を勉強する国だと、第1位の国の日本語を勉強している高校生と先輩が言っています。



インドネシアに帰国する前の写真

本当ですかね～
なんかすごいと思います。

先輩から日本語のイベントをたくさん紹介されまして、またインドネシアの日本語イベントを紹介させていただきます。よろしくお願いします～！



弁論大会のチラシ

生徒 リレーエッセイ



私は レ・ミン・トゥアットと申します。ベトナムから日本にきました。

5月12日に帰国する予定です。日本に来てもう3年になります。

今でも、初めて日本に来た日を思い出します。日本語が出来ないし、習慣と文化も分からなくて、その上、初めて海外で一人暮らしをするのでとても心配でした。

しかし、友達に草津市のオリーブを教えてもらって非常に幸運でした。

オリーブで日本語だけではなく、日本の習慣と文化も教えてもらいました。皆さんのおかげで、日本語が上手くなりました。

3年間、皆さんには色々お世話になり、心の中で感謝しております。本当にありがとうございました。オリーブに来て皆さんに出会って本当に良かったです。

皆さん、これからも健康に気をつけて、良い仕事をしてください。今後の皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。

また、機会があれば、ベトナムへ来てくださいね。皆さんを案内して差し上げたいです。

ベトナムでお待ちしております。

今年の SHIPS バーベキューあるばむ



当日の詳しい様子は次号(6月号)でお知らせします♪お楽しみに☆



先月の活動予定(4月)



今月の活動予定(5月)

日本語教室	4/1(M),8,15,22	(4回)
オリーブお花見	4/8	(土)
KIFA文化庁助成事業打ち合わせ	4/10	(月)(恩地)
まちセン全体会会議	4/21	(金)(前田)
SHIPS BBQ 打ち合わせ	4/22	(土)
		(恩地・吉田・後藤)

日本語教室	5/13,20,27	(3回) ※総会があるため(M)なし
BNN 運営会議	5/6	(土)(内田幸)
KIFA文化庁助成事業打ち合わせ	5/12	(金)(恩地)
オリーブ会計監査	5/13	(土)(杉山美・渡辺)
SHIPS BBQ	5/14	(日)
まちセン施設部会会議	5/16	(火)(前田)
KIFA文化庁助成事業運営委員会	5/25	(木)(恩地)
オリーブ総会・懇親会	5/28	(日)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者/参加予定者または担当者。敬称略

参加人数(4月)

	4/1	4/8	4/15	4/22
生徒	29人	26人	26人	29人
先生	18人	19人	21人	21人

会員の動き(4月)

〈入会〉 なし
 〈休会〉 なし
 〈退会〉 なし
 〈賛助会員〉 なし

お知らせ

日本語能力試験
 今年の日本語能力試験実施日です！
2017年7月2日(日)
2017年12月3日(日)

SHIPS 多文化子ども食堂
6月24日(土) 11:00~14:00

今年もオープン♪

今回は**ペルー料理**です！

場所:SHIPS(多文化共生支援センター)
 草津市草津1丁目12-13
 tel 077-561-5110
 Fax 077-565-6311
 SHIPSのfacebookページも
 みてね☆

QRコードで Let's アクセス!

←オリーブホームページ

オリーブ通信ページ→

【編集後記】

今号、実は発行日の前々日、しかも夜中に作成しています。本当なら先週には出せていたはずなのに、どうしてこんなことに…。忙しさよりも、スマートフォンが壊れたことの方が影響しているかもしれません。普段どれほどスマートフォンに頼っているか実感します。手抜きに見えるところがあっても、どうか目を瞑ってくださいね♡(yg)